

# 2012年度 第3四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2013年1月29日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2012年度 第3四半期(9ヵ月累計) 決算 概要

FUJIFILM

## 2012年度 第3四半期 決算 概況 (2012年4月～12月)

- ・ 円高影響による売上減(97億円)、営業利益減(62億円)
- ・ 欧州の景気低迷による需要減(ドキュメント等)
- ・ IT機器市場の需要低迷と、それに伴う市場の在庫調整によるフラットパネルディスプレイ材料の需要減
- ・ スマートフォンの普及の影響によるコンパクトデジタルカメラの需要減
- ・ メディカルシステム・ライフサイエンス事業が好調に推移

円高影響に加え、長引く欧州の景気低迷による  
需要減など、厳しい事業環境が続き、減収減益

## 2012年度 第3四半期 業績 (2012年4月~12月)

(単位:億円)

	2011年度9ヵ月累計	2012年度9ヵ月累計	対前年度
売上高	16,185 100.0%	16,112 100.0%	-73 -0.5%
営業利益	856 5.3%	654 4.1%	-202 -23.6%
税金等調整前 四半期純利益	577 3.6%	628 3.9%	51 +8.9%
当社株主帰属 四半期純利益	237 1.5%	288 1.8%	51 +21.7%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	49.19円	59.89円	10.70円
為替 :米ドル :ユーロ	79円 110円	80円 102円	1円安 8円高

3

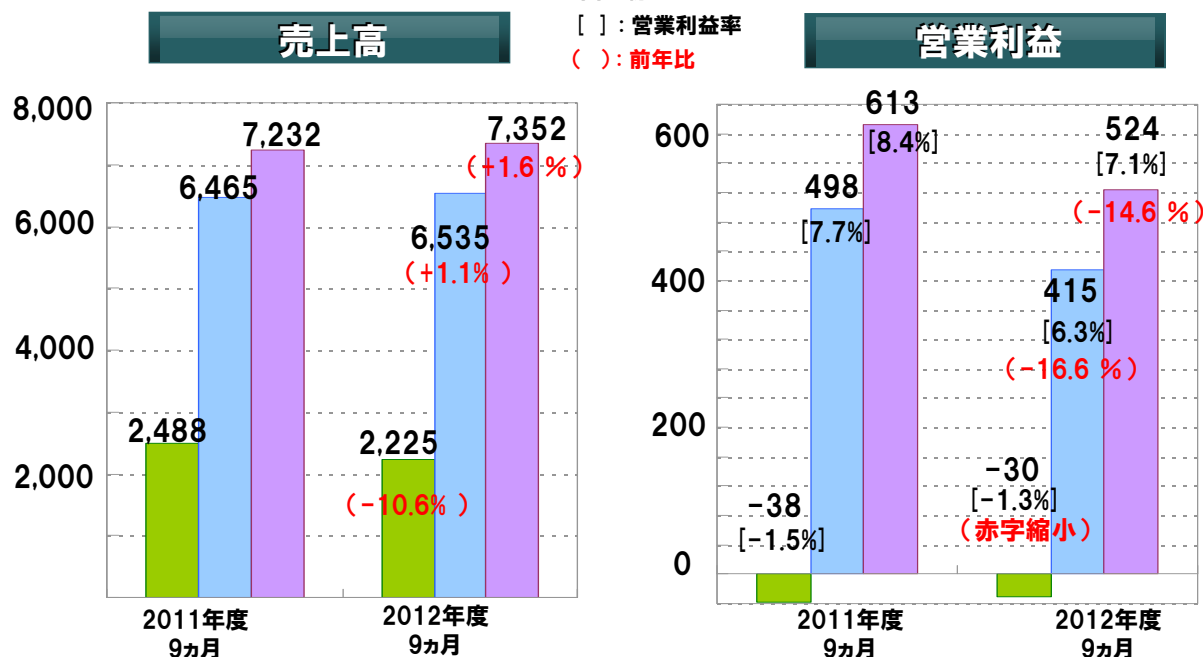
## セグメント別:連結売上高/営業利益

■ イメージングソリューション ■ インフォメーションソリューション ■ ドキュメントソリューション

単位:億円

[ ] : 営業利益率

( ) : 前年比



\* セグメント間取引消去後

4

## セグメント別 概況

### ■ イメージング ソリューション

- ・フォトイメージングでは、カラーペーパーなどのプリント材料製品の販売が堅調に推移。特にカラーペーパーは、世界各国で他社からの切替が進み販売が好調。
- ・インスタントカメラの販売もアジアを中心に好調。

- ・コンパクトデジタルカメラは、総需減の影響により売上が減少したが、Xシリーズを中心とする高級機種の販売が堅調に推移。

減収であったものの、フォトイメージングが好調に推移したことや、コスト削減策により、損益改善

## セグメント別 概況

### ■ インフォメーション ソリューション

- ・フラットパネルディスプレイ材料は、VA用フィルム・IPS用フィルムや、ブレンタック(60 $\mu$ 、40 $\mu$ )の販売が好調に推移。一方でIT機器の需要低迷や、在庫調整の影響でWVフィルムの売上が減少し、事業全体でも売上が減少。
- ・医療システムでは、医用画像情報ネットワークシステムや機器などの販売が好調に推移。また携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により売上が増加。医薬品は富山化学や富士フィルムファーマなどの売上が増加。化粧品はリニューアルした「アスタリフト」の販売が好調。
- ・電子材料で引き続き売上が増加。グラフィック、記録メディア、光学デバイスは売上が減少。

医療システム・ライフサイエンス等が好調に推移し、増収を確保したものの、円高影響などにより、減益

## セグメント別 概況

## ■ ドキュメント ソリューション

- ・国内、アジア・オセアニア地域のいずれも事業が堅調に推移し、米国ゼロックス向け輸出の不振を補い、全体で売上が増加。
- ・オフィスプロダクトの国内では、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加し、市場における稼働台数及びコピー枚数も増加。
- ・グローバルサービスは、国内、アジア・中国地域ともに2桁の増収。  
また、10月に豪州最大のビジネスサービスプロバイダーからビジネスプロセスアウトソーシング事業を買収したことも、売上の増加に寄与。
- ・米国ゼロックス向け輸出の不振や、商品ミックスの変化等による影響を受け減益。

増収を確保したものの、欧米市場の低迷、  
商品ミックスの変化等の影響を受け減益

## 連結貸借対照表

(単位:億円)

	10年度末	11年度末	12年12月末	対11年度末		10年度末	11年度末	12年12月末	対11年度末
現金及び現金同等物	3,131	2,351	4,279	1,928	長短社債及び借入金	1,896	1,989	4,183	2,194
受取債権	5,022	5,565	5,373	-192	支払債務	2,614	2,584	2,302	-282
棚卸資産	3,422	3,780	4,133	353	その他流動固定負債	4,069	4,259	3,995	-264
有価証券 その他流動資産	1,533	1,524	1,682	158	負債計	8,579	8,832	10,480	1,648
流動資産計	13,108	13,220	15,467	2,247	株主資本計	17,225	17,218	17,882	664
有形固定資産	5,641	5,539	5,423	-116	非支配持分	1,284	1,347	1,465	118
営業権	3,444	3,935	3,997	62	純資産計	18,509	18,565	19,347	782
投資有価証券 その他資産	4,895	4,703	4,940	237	負債・純資産 合計	27,088	27,397	29,827	2,430
固定資産計	13,980	14,177	14,360	183					
資産合計	27,088	27,397	29,827	2,430					

(単位:円)

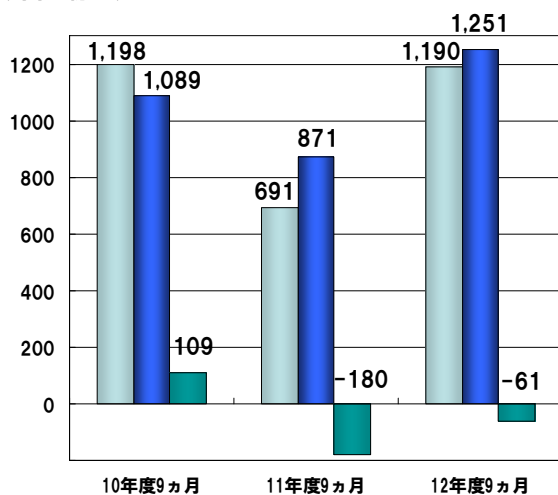
期末日 為替レート	10年度末	11年度末	12年12月末	対11年度末
米ドル	83	82	87	5円安
ユーロ	118	110	115	5円安

## キャッシュフロー

(単位:億円)

- 営業活動によるキャッシュフロー
- 投資活動によるキャッシュフロー
- フリーキャッシュフロー

(単位:億円)



	10年度 9ヵ月	11年度 9ヵ月	12年度 9ヵ月
四半期純利益	647	337	406
減価償却費	1,150	1,079	1,026
受取債権の増(-)減(+)	-221	-160	385
棚卸資産の増(-)減(+)	-475	-384	-178
営業債務の増(+)-減(-)	-61	-183	-308
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	-119	-252	-307
その他	277	254	166
<b>営業活動によるCF</b>	<b>1,198</b>	<b>691</b>	<b>1,190</b>
設備投資	-673	-742	-669
ソフトウェアの購入	-124	-143	-132
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	-67	222	95
その他	-225	-208	-545
<b>投資活動によるCF</b>	<b>-1,089</b>	<b>-871</b>	<b>-1,251</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>109</b>	<b>-180</b>	<b>-61</b>
<b>営業活動によるCF+設備投資</b>	<b>525</b>	<b>-51</b>	<b>521</b>

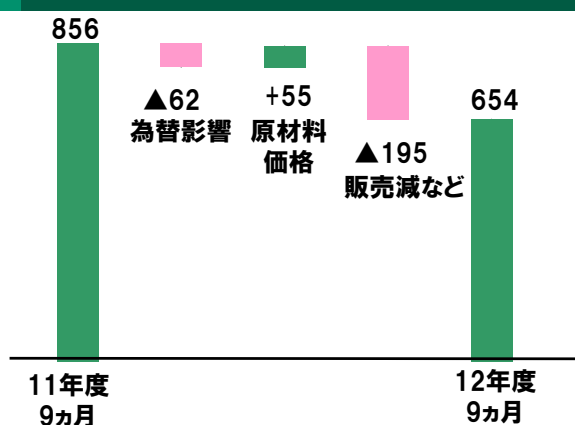
## 2012年度 第3四半期 決算説明会

## 参考資料

11

## 2012年度 第3四半期決算説明会 参考資料

## 営業利益 増減要因



(単位:億円)

2011年度 9ヵ月	2012年度 9ヵ月			実績
	為替 影響	原材料 価格	販売増減 など	
856	▲62	+55	▲195	654

	2011年度9ヵ月 (平均)	2012年度9ヵ月(平均)	対前年度
<b>為替</b>			
米ドル	79円	80円	1円安 (1.3%安)
ユーロ	110円	102円	8円高 (7.3%高)
<b>原材料</b>			
銀	92,000円/Kg	78,000円/Kg	▲14,000円/Kg (▲15.2%)

12

## 3Q/9ヶ月累計 業績

(単位:億円)

売上高	2011年度		2012年度		対前年度(9ヵ月)
	3Q	9ヵ月	3Q	9ヵ月	
イメージング ソリューション	864	2,488	799	2,225	-263 (-10.6%)
インフォメーション ソリューション	2,116	6,465	2,246	6,535	70 (+1.1%)
ドキュメント ソリューション	2,371	7,232	2,451	7,352	120 (+1.6%)
合計	5,351	16,185	5,496	16,112	-73 (-0.5%)

\*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益	2011年度		2012年度		対前年度(9ヵ月)
	3Q	9ヵ月	3Q	9ヵ月	
イメージング ソリューション	-1	-38	-17	-30	8 (赤字縮小)
インフォメーション ソリューション	161	498	172	415	-83 (-16.6%)
ドキュメント ソリューション	176	613	162	524	-89 (-14.6%)
全社/連結調整	-70	-217	-86	-255	-38
合計	266	856	231	654	-202 (-23.6%)

13

## 3Q/9ヶ月累計 業績

## ■ イメージング ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度		2012年度		対前年度(9ヵ月)
	3Q	9ヵ月	3Q	9ヵ月	
フォトイメージング	546	1,557	537	1,496	-61 (-3.9%)
電子映像	318	931	262	729	-202 (-21.7%)
合計	864	2,488	799	2,225	-263 (-10.6%)

\*セグメント間取引消去後

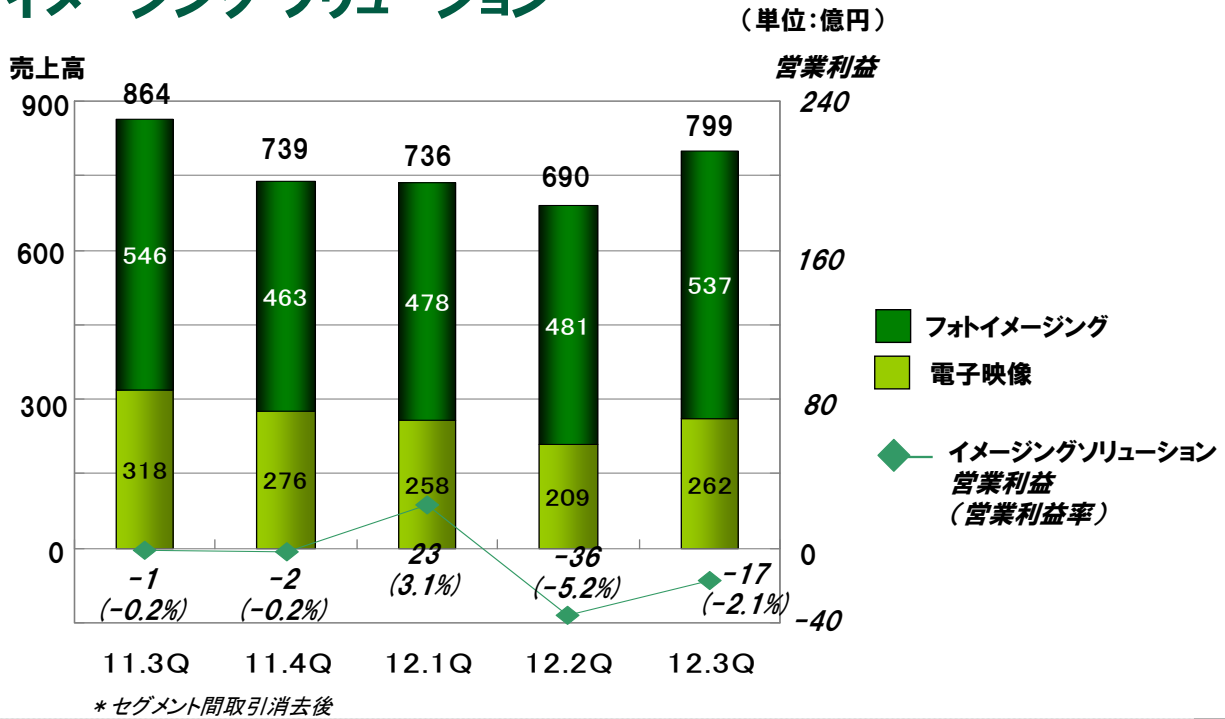
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2011年度		2012年度		対前年度(9ヵ月)
	3Q	9ヵ月	3Q	9ヵ月	
イメージング ソリューション	-1 [-0.2%]	-38 [-1.5%]	-17 [-2.1%]	-30 [-1.3%]	8 (赤字縮小)

14

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

### ■ イメージング ソリューション



## 第3四半期(9ヶ月累計) セグメント別 業績

### ■ イメージング ソリューション

#### フォトイメージング

- プリント材料製品が堅調に推移。世界各国で他社からの切替が進んだカラーペーパーの販売は好調。フォトブックを中心とした付加価値プリントの増加も、カラーペーパーの販売好調に寄与。
- 新製品を発売したインスタントカメラの販売がアジアを中心に好調に推移。

#### 電子映像

- コンパクトデジタルカメラの需要減の影響を受け、売上が減少。
- 2012年11月に発売開始したレンズ交換式プレミアムカメラ「X-E1」など、高級機種「Xシリーズ」の販売は堅調に推移。



# 3Q/9ヶ月累計 業績

## ■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度		2012年度		対前年度(9ヵ月)
	3Q	9ヵ月	3Q	9ヵ月	
メディカルシステム ライフサイエンス	647	1,985	793	2,296	311 (+15.7%)
グラフィックシステム	561	1,735	604	1,712	-23 (-1.3%)
フラットパネルディスプレイ材料	465	1,393	442	1,190	-203 (-14.5%)
記録メディア	119	353	103	295	-58 (-16.4%)
産業機材/電子材料他	199	599	176	673	74 (+12.2%)
光学デバイス	125	400	128	369	-31 (-7.8%)
合計	2,116	6,465	2,246	6,535	70 (+1.1%)

\*セグメント間取引消去後

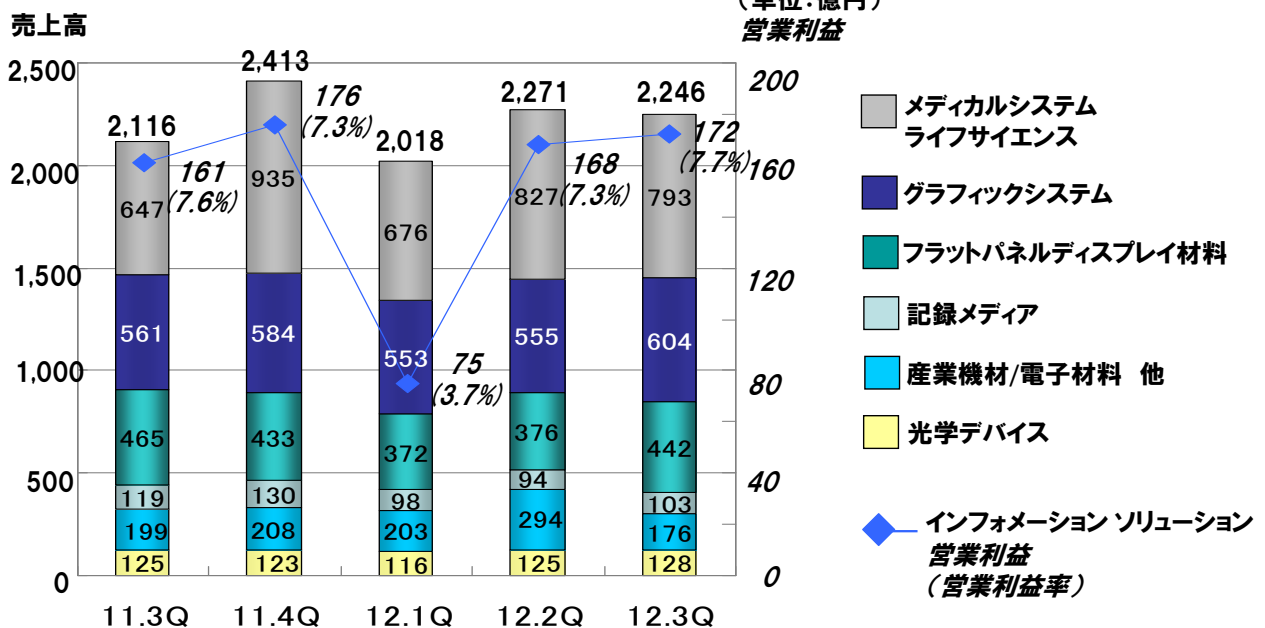
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2011年度		2012年度		対前年度(9ヵ月)
	3Q	9ヵ月	3Q	9ヵ月	
インフォメーション ソリューション	161 [7.6%]	498 [7.7%]	172 [7.7%]	415 [6.3%]	-83 (-16.6%)

# セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

## ■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)  
営業利益



\*セグメント間取引消去後

## 第3四半期(9ヶ月累計) セグメント別 業績

### ■ インフォメーション ソリューション

#### メディカルシステム・ライフサイエンス

##### 【メディカルシステム】

- ネットワークシステム分野では医療用画像情報システム(PACS)を中心に診療情報分野への事業拡大を進めており売上が増加。「SYNAPSE」は国内約1,800の医療施設に導入されトップシェアを維持。
- 小型デジタルX線画像診断装置「FCR PRIMA」シリーズ、また高画質経鼻内視鏡の販売が好調に推移。
- 携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により売上が増加。

##### 【医薬品】

- 富山化学は「ゾシン」「オゼックス細粒」の販売が好調に推移し、売上が伸長。
- 富士フィルムファーマは、バイエル薬品より専売権を獲得した薬剤の販売により売上が増加。

##### 【ライフサイエンス】

- 11月にジェリー60gを発売したことなどにより、9月にリニューアルした「アスタリフト」シリーズの販売が伸長。

## 第3四半期(9ヶ月累計) セグメント別 業績

#### フラットパネルディスプレイ材料

- ブレーンタック(60μおよび40μ)が売上増加。またVA用フィルム・IPS用フィルムも販売が好調。
- IT機器需要の低迷によりWVフィルムの売上が減少。

#### グラフィックシステム

- 刷版材料やデジタルプリンティング機器の販売が堅調に推移したものの、為替の円高影響などにより、売上が減少。

#### 記録メディア

- 為替の円高影響や、業務用ビデオの総需減少等により、売上が減少。

#### 産業機材/電子材料 他

- 工業用X線フィルムの販売が堅調に推移したものの、為替の円高などの影響を受け、売上が減少。
- ArF液浸レジスト、CMPスラリー、イメージセンサー用カラーモザイクなどの販売が好調に推移。

#### 光学デバイス

- 携帯電話用カメラレンズの販売が減少したことなどにより、売上が減少。

# 3Q/9ヶ月累計 業績

## ■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度		2012年度		対前年度(9ヵ月)
	3Q	9ヵ月	3Q	9ヵ月	
オフィスプロダクト	1,188	3,609	1,193	3,654	45 (+1.3%)
オフィスプリンター	390	1,177	367	1,156	-21 (-1.8%)
プロダクションサービス	354	1,126	342	1,056	-70 (-6.1%)
グローバルサービス	235	699	319	827	128 (+18.3%)
その他	204	621	230	659	38 (+6.2%)
合計	2,371	7,232	2,451	7,352	120 (+1.6%)

\*セグメント間取引消去後

\*2012年度よりオフィスプロダクト・プロダクションサービスにおいて商品分類の組み換えを行っており、2011年度の数字についてもリステートしております。

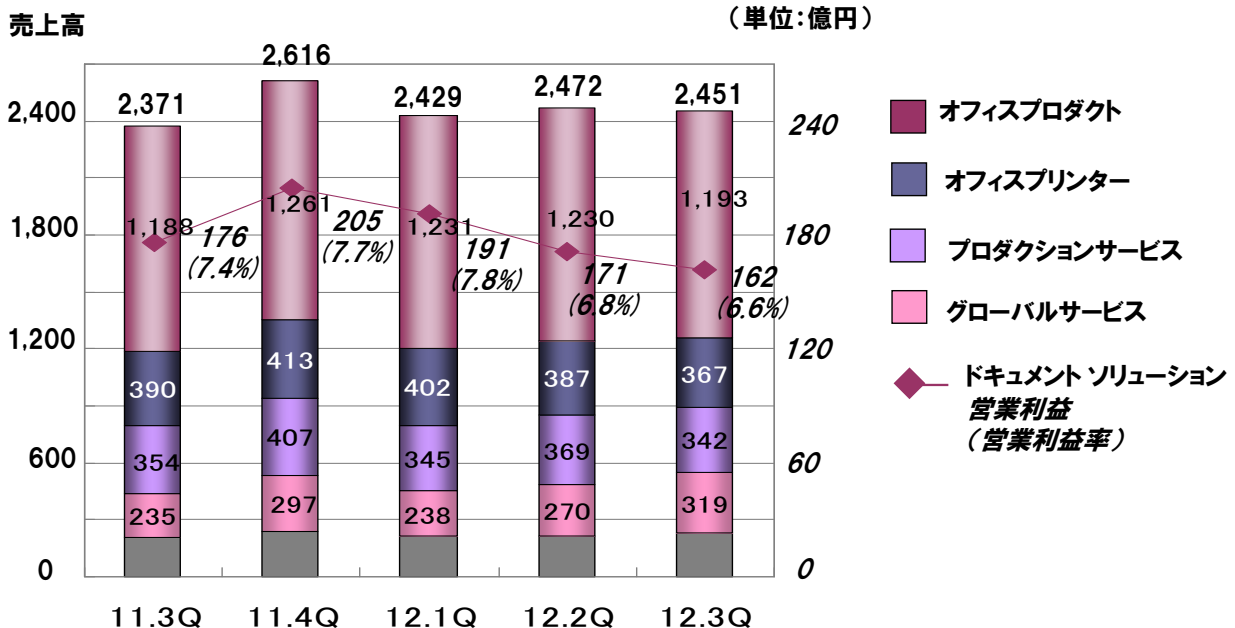
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2011年度		2012年度		対前年度(9ヵ月)
	3Q	9ヵ月	3Q	9ヵ月	
ドキュメント ソリューション	176 [7.4%]	613 [8.4%]	162 [6.6%]	524 [7.1%]	-89 (-14.6%)

# セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

## ■ ドキュメント ソリューション

営業利益  
(単位:億円)



\*セグメント間取引消去後

\*2012年度よりオフィスプロダクト・プロダクションサービスにおいて商品分類の組み換えを行っており、2011年度の数字についてもリステートしております。

## 第3四半期(9ヶ月累計) セグメント別 業績

### ■ ドキュメント ソリューション

#### オフィスプロダクト

- 国内は、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加、市場における稼働台数及びコピー枚数は増加したものの、コピー単価の下落により消耗品および保守サービス売上は減少。
- アジア・オセアニア地域は、6月発売の「DocuCentre S2010/S1810」が好調に推移し、モノクロ機の販売台数が大幅に増加し、カラー機も増加。

#### オフィスプリンター

- アジア・オセアニア地域は、モノクロ機、カラー機ともに販売台数が増加。

#### プロダクションサービス

- アジア・オセアニア地域において、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの販売好調により販売台数が増加。

#### グローバルサービス

- 国内、アジア・中国地域ともに2桁成長の増収。

## 国内・海外別連結売上高

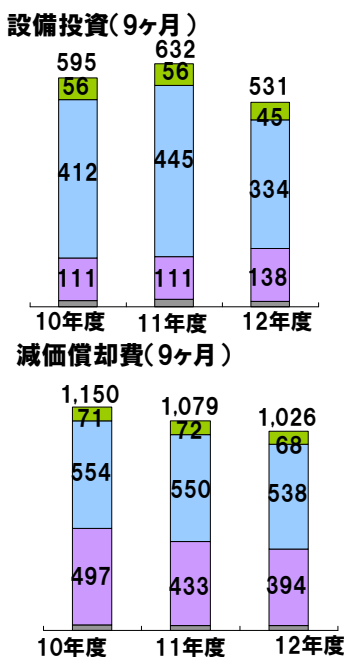
(単位:億円)

	2011年度 9ヵ月		2012年度 9ヵ月		対前年度
	構成比 (%)		構成比 (%)		
日本	45.1%	7,297	45.0%	7,256	-41 (-0.6%)
米州	17.1%	2,767	18.0%	2,895	128 (+4.6%)
欧州	12.3%	1,999	11.5%	1,860	-139 (-6.9%)
内、中国	9.4%	1,515	9.2%	1,475	-40 (-2.6%)
アジア他	25.5%	4,122	25.5%	4,101	-21 (-0.5%)
海外	54.9%	8,888	55.0%	8,856	-32 (-0.4%)
合計	100.0%	16,185	100.0%	16,112	-73 (-0.5%)

## 設備投資、減価償却費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)



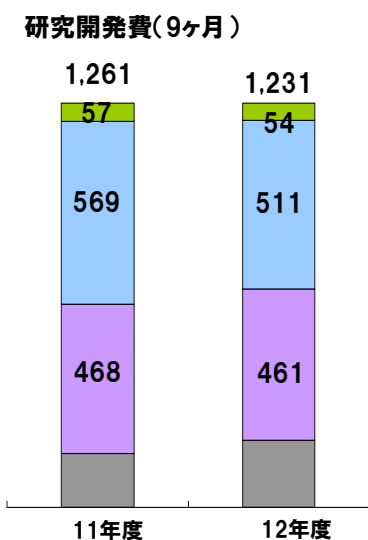
	2010年度			2011年度			2012年度		
	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度(予想)
イメージング	16	56	81	23	56	92	18	45	-
インフォメーション	179	412	618	111	445	598	79	334	-
ドキュメント	29	111	195	36	111	193	55	138	-
コーポレート	7	16	5	6	20	26	5	14	-
設備投資 ※	231	595	899	176	632	909	157	531	850
イメージング	22	71	101	25	72	108	28	68	-
インフォメーション	188	554	774	188	550	763	177	538	-
ドキュメント	163	497	658	154	433	575	141	394	-
コーポレート	10	28	38	8	24	32	11	26	-
減価償却費	383	1,150	1,571	375	1,079	1,478	357	1,026	1,450
有形固定資産の減価償却費 ※	259	770	1,066	243	695	966	235	665	950

※ ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

## 研究開発費、販売費および一般管理費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)



	2011年度			2012年度		
	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度(予想)
イメージング	23	57	72	13	54	-
インフォメーション	210	569	769	170	511	-
ドキュメント	139	468	641	161	461	-
コーポレート	56	167	252	69	205	-
研究開発費	428	1,261	1,734	413	1,231	1,750
<売上高比>	8.0%	7.8%	7.9%	7.5%	7.6%	7.9%
販売費及び一般管理費	1,414	4,269	5,814	1,452	4,347	-
<売上高比>	26.4%	26.4%	26.5%	26.4%	27.0%	-

## 為替、為替感応度、人員

## 為替

(単位:円)

	2011年度						2012年度				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	年度(予想)
米ドル	82	78	77	79	79	79	80	79	81	80	82
ユーロ	117	110	104	110	104	109	103	98	105	102	106

\*2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円

## 人員

(単位:人)

	2011.12末	2012.3末	2012.6末	2012.9末	2012.12末
連結	81,316	81,691	80,155	79,845	81,542

## パイプライン

開発番号	薬効	地域	開発段階					剤形
			前臨床	P I	P II	P III	申請	
T-705	抗ウイルス剤	日本						経口
		米国						
T-3811	ニューキノロン系合成抗菌剤	中国						経口
T-2307	抗真菌剤	米国						注射
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国						経口
		日本						
ITK-1	抗癌剤(前立腺癌)	日本						注射
FF-10501	抗癌剤(血液癌)	日/米/欧						経口
FF-21101	抗癌剤(難治性固形癌)(Armed抗体)	米/欧/日						注射
FF-10502	抗癌剤(難治性固形癌)	米/欧/日						注射

T-3811:国内はジェニナック錠として上市済み

## 2012年度 第3四半期 決算説明会

# 2012年度 通期業績予想と施策

代表取締役社長・COO  
中嶋 成博

2013年1月29日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

### 2012年度 通期業績予想



## 2012年度 連結業績予想 (2013年1月29日時点)

(単位:億円)

	2011年度	2012年度 (前回予想)	2012年度 (修正予想)	対前回予想	対前年度
売上高	21,953 100.0%	22,100 100.0%	22,100 100.0%	0 -	147 +0.7%
営業利益	1,129 5.1%	1,250 5.7%	1,100 5.0%	-150 -12.0%	-29 -2.6%
税金等調整前 当期純利益	892 4.1%	1,050 4.8%	1,100 5.0%	50 +4.8%	208 +23.3%
当社株主帰属 当期純利益	438 2.0%	450 2.0%	500 2.3%	50 +11.1%	62 +14.2%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	90.84円	93.42円	103.80円	10.38円	12.96円
為替 :米ドル :ユーロ	79円 109円	79円 100円	82円 106円	3円安 6円安	3円安 3円高

\*2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円

4Q ドル円:87円、ユーロ円116円、銀価格 89,000円/kg

## 2012年度 連結業績予想 見直しのポイント

### ■電子映像(デジタルカメラ)

- ・スマートフォンの普及や景気低迷により、コンパクトデジタルカメラの総需減が想定以上に進行。(10月～12月合計で対前年▲33%、対前々年▲45%)
  - ・総需が依然堅調に推移すると想定していたBRICs・新興国でも総需下落が開始。特に中国での総需下落が著しく、当社販売も減少。
  - ・Xシリーズ、レンズ交換式システムのラインアップ強化により上位機種比率は上昇しているものの、コンパクトの販売減の影響をカバーしきれない状況。
- ⇒販売減に対して固定費を削減したが、限界利益の未達をカバーするに至らず、損益が悪化。

31

## 2012年度 連結業績予想 見直しのポイント

### ■ドキュメント

- ・米国ゼロックス社向け輸出の大幅減。
  - ・輸出依存度の高い豪州・韓国での複合機・大型機の販売減速、中国での大型機販売が想定を下回って推移。
  - ・国内においても機器の販売価格が想定を上回って下落。
  - ・各チャネルでの販売が想定を下回り、工場における操業度が低下しコストアップの要因に。更に一部の部材メーカーの火災で部品供給が滞った影響により、製品供給を担保するための追加コストが発生。
- ⇒上記の環境悪化影響により営業利益が減少。

営業利益ベースでは下方修正となるものの  
当期純利益では上方修正

32



## 4Q以降 来期に向けた施策と見通し

### ■電子映像(デジタルカメラ) ⇒大幅損益改善

- ・高価格機種へのシフト
  - Xシリーズ、レンズ交換式システムの更なるラインアップ拡大とブランド力強化により、販売を大幅に増加。
  - コンパクトデジタルカメラも、機種構成を大幅に見直し、ロングズームブリッジタイプ、防水タイプなど、差別化商品に集中。
- ・固定費削減
  - 開発・製造・販売のあらゆる固定費をゼロベースで見直し、大幅削減を実施。

### ■ドキュメント ⇒営業利益率の向上

- ・グローバルサービス、プロダクションサービス及びソリューションサービスの更なる強化と事業拡大
  - 顧客の課題解決を通じた日本国内のサービス事業拡大。
  - 豪州サービスプロバイダー買収をトリガーとしたアジア・オセアニア地域でのサービス事業の拡大。
- ・付加価値の訴求による機器販売の更なる拡大と収益性向上
- ・一層のコスト低減・経費削減の推進による収益性改善

33

## 4Q以降 来期に向けた施策と見通し

### ■フラットパネルディスプレイ材料 ⇒安定したキャッシュカウビジネスへ

- ・VA/IPS用フィルム、薄手プレーンタック(60 $\mu$ ・40 $\mu$ )および中小型向け超薄手(25 $\mu$ )フィルムの拡販
- ・減価償却費の減少

### ■メディカル・ライフサイエンス ⇒将来の収益柱として確実な成長

- ・メディカルシステムの最大需要期(4Q)での拡販と、IT・内視鏡・超音波を中心とした成長
- ・医薬品事業の増益、来期黒字化

**販売・マーケティング力アップ、生産コスト競争力のアップ、  
間接部門の付加価値アップ、R&Dの効率化を軸とした  
現場力向上の推進**

**既存事業の安定維持と成長領域の確実な成長  
来期は大幅な増収・増益を実現し、再び成長のフェーズへ**

34



わたしたちは、先進・独自の技術をもって、  
最高品質の商品やサービスを提供する事により、  
社会の文化・科学・技術・産業の発展、  
健康増進、環境保持に貢献し、  
人々の生活の質のさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>